

野球で友情を深めた1日

4/3 アメリカの野球部が中津川市を訪問

東京2020オリンピックの際、米国レスリングチームの事前合宿をきっかけにアメリカのホストタウンとなった中津川市へ、日本遠征中のセント・イグナチオ高校（オハイオ州クリーブランド）の野球部が訪れました。市長面談後に行われた中京学院大学硬式野球部との交流試合は、あいにくの雨で途中で中止となってしまいましたが、選手たちは笑顔で交流を深めました。

問 生涯学習スポーツ課（☎内線4305）



雨の中の熱闘

中津川公園野球場

五穀豊穡を願う春の伝統行事！

4/14 杵振り花馬祭り

蛭川の春の伝統行事である、杵振り花馬祭りが開催されました。赤・黄・青のカラフルな笠をかぶった若者が杵を振りながら、おかめやひよっこなどと約2キロを練り歩きます。五穀豊穡を願い、踊りを奉納するこの祭りは、県の重要無形民俗文化財に指定されています。杵振り踊りが終わると神馬や花馬が石段を勢よく駆け上がる迫力に会場は大いに盛り上がりました。

問 蛭川総合事務所（☎0573-45-2211）



赤・黄・青の笠が鮮やかな踊り

安弘見神社（蛭川）

きれいなツツジを堪能！

4/14 ツツジ祭りin夜明けの森

ツツジを見ながら春の夜明けの森を散策する初めてのイベントが開催され、多くの人々が訪れました。

晴天にも恵まれ、きれいに咲いたツツジのほか、マルシェでの買い物やクラフト体験なども楽しめたイベントとなりました。

問 苗木事務所（☎66-1301）



きれいに咲くツツジ(上)、クラフト体験(下)



夜明けの森

持続可能な中津川へ ~あなたにもできるSDGs~⑮

問 政策推進課（☎内線332）

～幼いころから木に触れる機会を～
「東濃ヒノキを使った木製品の贈呈」

中津川市は古くから林業・木材産業とともに発展してきました。豊かな森林を次世代へつないでいくため、「中津川市森の担い手育成構想」を策定し、幼い頃から、木に触れ、木を知り、木を使える人材の育成に取り組んでいます。また、森林環境譲与税を活用して、市内産東濃ヒノキを使った木製品贈呈の取り組みを行なっています。



ぬくマフで患者さんに寄り添う

ぬくマフ作成のボランティア

ぬくマフの作成に多くの方のご協力をいただきました。ぬくマフとは、認知症患者をケアするための筒状のニットのこと。握ったりすることで情緒が安定し、安全に治療ができ、近年日本でも普及しつつあります。作成していただいたぬくマフは、認知症の患者さんの治療に安全と安心を提供する一助となっています。今後も工夫を凝らし、患者さんに寄り添う看護に取り組んでいきます。

問 市民病院 総務人事課（☎66-1251）



実際に使う患者さん

市民病院

地域のために頑張ってきました！

3/29 西七区少年消防クラブが総務大臣表彰を報告

西七区少年消防クラブが結成以来、地域に火の用心を呼びかけるため、定期的に拍子木を打ちながら巡回を続けた功績が認められ、総務大臣から特に優良な少年消防クラブとして表彰されました。また、少年消防クラブ員の出口勇気さん、小木曾星奈さん、青木美紗さん、大畑麗亜さんが小学校卒業に伴い退会するため、中津川市消防長感謝状を贈呈しました。

問 消防本部 予防課（☎66-1619）



受賞を報告しました

市役所

総合文化祭を成功させよう！

4/3 新聞部門委員会生徒が市長を表敬訪問

第48回全国高等学校総合文化祭の実行委員会の皆さんが、新聞部門の会場となる中津川市の市長を表敬訪問しました。恵那高校生徒委員長、古根陽向さんは、「地域の歴史や産業の魅力を伝えたい。」生徒委員の早川紗雪さんは「出場者が不安なく力を発揮できるようにしたい。」と抱負を語りました。新聞部門は、8月1日(木)から3日(土)まで東美濃ふれあいセンターで開催されます。

問 文化振興課（☎内線4318）



総文祭の成功に向けて取り組んでいます

市役所

祝100歳 いっまでもお元気で！

問 高齢支援課（☎内線604）



たぐち とみ 田口 十三さん（中津川）



ささまた こ 笹俣 みよ子さん（坂下）



いのうえ みつあき 井上 光顯さん（茄子川）



ささき こうこ 佐々木 甲子さん（苗木）